

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年10月30日～11月5日)

平成 26 年(2014 年)11 月 7 日

H E A D L I N E S

## 政治

与党・市民プラットフォーム(PO)支持率で僅かにリード  
 コパチ首相, 野党党首との会合を主催  
 スヘティナ外相, スロバキアを訪問  
 ポーランド外務省, 「ドネツク人民共和国」及び「ルガンスク人民共和国」における「選挙」を認めない姿勢を表明  
 新国家安全保障戦略の大統領署名式典

## 経済

欧州委が経政成長を下方修正  
 11月の政策金利は引き続き2.0%  
 10月のPMIは51.2ポイント  
 9月の輸出は5.0%の増加  
 武田薬品が工場を拡張【30日】  
 四半期ベースの新車登録台数が発表  
 欧州委員会がガスパイプライン建設プロジェクトを補助  
 コパチ首相が建設中のオポレの石炭火力発電サイトを訪問  
 スロバキアとポーランドを連結する新たなガス・パイプラインの建設計画

## 大使館からのお知らせ

ポーランド独立記念日の行進に関するご注意  
 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)  
 大使館広報文化センターの開館時間について  
 東日本大震災義捐金受付について  
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政治

### 内政

#### 与党・市民プラットフォーム(PO)支持率で僅かにリード【5日】

11月16日に統一地方選挙が迫る中(首長選挙の決選投票は11月30日予定)、5日に発表された当地世論調査機関CBOSによる県議会選挙で投票する政党に関する調査結果によると、与党・市民プラットフォーム(PO)が24%、最大野党「法と正義」(PiS)、連帯ポーランド(SP)及び「ポーランドと共に」(PR)による選挙連合が23%の支持を集め、与党POが僅かにリードする結果となった。この他の政党については、農民党(PSL)が7%、左翼民主連合(SLD)

が5%、親右派(NP)が4%、みんなの運動(TR)が1%の支持を集めた。

#### コパチ首相、野党党首との会合を主催【5日】

5日、コパチ首相は自身のイニシアティブにて野党党首との会合を行い、地方自治体における市民参加型予算(注:自治体の予算配分を住民が決定する制度)等の議題につき意見交換した。同会合には、農民党(PSL)、民主左翼連合(SLD)及びみんなの運動(TR)の党首が参加したが、最大野党「法と正義」(PiS)のカチンスキ党首は参加しなかった。

## 外交・安全保障

#### スヘティナ外相、スロバキアを訪問【10月30日・31日】

10月30日及び31日、スヘティナ外相はスロバキアを訪問し、「V4+西バルカン諸国・オーストリア・イタリア」外相会合、「V4+英国」外相会合に出席した他、スロバキアを始めとする参加各国の外相と個別会談を行った。本会合に際して、V4外相はウクライナの最高会議選挙に関する共同声明を発出し、ウクライナの改革に対する更なる支援姿勢を表明した。また、V4と英国の外相による共同声明では、11月2日にウクライナ東部の親露分離主義者支配地域で実施予定の「選挙」がウクライナ法に準拠しておらず認められないとの立場が示された。

において実施された「選挙」は(ウクライナ東部の停戦に関する)ミンスク合意に反するものであり、ポーランドは同「選挙」を認めない旨発言した。

#### 新国家安全保障戦略の大統領署名式典【5日】

10月21日に当国政府が採択した新しい国家安全保障戦略の署名式典が、コモロフスキ大統領府、シャモニヤク副首相・国防相及びコジェイ国家安全保障局長が出席し執り行われた。本式典内で大統領は、新しい国家安全保障戦略は、当国の東側に抱える安全保障の現状変化を受けて国家としての変化及び行動方針を定める重要な文書である、また、右方針は、軍のみならず、国家防衛の可能性への責任を負う他省庁にも重要な意味があると述べ、同式典にNGO及び地方政府からの出席もあり嬉しく思うとともに、それら全ての参加者とともに本戦略を効果的に実施することができる」と述べた。

#### ポーランド外務省、「ドネツク人民共和国」及び「ルガンスク人民共和国」における「選挙」を認めない姿勢を表明【3日】

3日、ヴォイチェホフスキ外務省報道官は、2日にウクライナ東部の親露分離主義者支配地域である「ドネツク人民共和国」及び「ルガンスク人民共和国」

## 経済

### 経済・財政政策

#### 欧州委が経政成長を下方修正【4日】

欧州委は最新の経済観測を発表し、2014年の経済成長率を前回発表の3.0%から2.8%に2015年を3.4%から3.2%にそれぞれ下方修正した。依然として2014年の経済成長率は、アイルランドの4.6%、ハンガリーの3.2%、英国の3.1%に次ぐEU内第4番目の高水準で、更に2016年には3.4%に加速するとしている。今次下方修正の要因として、輸出や投資の不振は一時的なものであるが、ウクライナ・ロシア危機の影響は2015年まで継続すると見られることを挙げている。また、財務省は財政赤字の

対GDP比率を2014年は3.3%、2015年は2.5%としているが、今次欧州委発表ではそれぞれ3.4%及び2.9%としている。

#### 11月の政策金利は引き続き2.0%【5日】

金融政策委員会(RPP)は、月例会合を開き、11月の基準金利を前月と同率の2.0%とした。RPPは10月の大幅利下げによる金融政策の効果は継続しているとしているが、第3四半期の経済成長率は消費の落ち込みにより前期より低下すると見られていることから、市場の大方も更なる利下げを期待し

## マクロ経済動向・統計

### 10月のPMIは51.2ポイント【3日】

10月の購買担当者景況指数(PMI)は、9月の49.5ポイントから更に上昇した51.2ポイントとなった。PMIが標準値50ポイントを上回るのは6月以来で、4月以降最も高い数値となっている。要因としては新規受注が増加しており、また在庫調整が進んでいることから今後生産が増加すると見込まれることが挙げられる。他方、輸出需要は徐々に低下しており、インフレ圧力も引き続き弱いという側面もある。

### 9月の輸出は5.0%の増加【3日】

9月の輸出は前年同月比5.0%増、前月比22.7%増となる142億ユーロとなった。ズロチ建では、前年同月比3.9%増、前月比22.6%増となる594.4億ズロチ。2014年通年では、前年比6.0%増となる1,577億ユーロ若しくは同5.5%増となる6,592億ズロチと予想されている。

## ポーランド産業動向

### 武田薬品が工場を拡張【30日】

30日、武田薬品工業は、ウッチ近郊のLyszkowiceにある工場の拡張式典を行った。この拡張により、100人以上の新規雇用と50%の生産増が見込まれている。同工場で生産されるOCT薬品(処方せんが不要な薬品)やダイエット・サプリメントはEU域内や中東などで販売されている。

ポーランド自動車工業会とKPMGの発表によると、2014年第1-第3四半期の累計新車登録台数(乗用車)は、前年同期比15%増加の245,000台となった。第3四半期単独では前年同期比5.5%増の69,100台が登録された。商用車については前年同期比9.6%増の32,100台となった。バスについては同30.4%増、バイクについては同25.1%増となった。トラックと原動機付き自転車については、前年同期比より減少している。

### 四半期ベースの新車登録台数が発表【5日】

## エネルギー・環境

### 欧州委員会がガスパイプライン建設プロジェクトを補助【31日】

31日、経済省は、欧州委員会がポーランドのGaz System社が参画する3つの越境天然ガス・パイプライン建設プロジェクトを補助することを決定したと発表した。対象となる、ポーランドーリトアニア間の建設プロジェクトには2.95億ユーロ、ポーランドーチェコ間の建設プロジェクトには1,160万ユーロ、ポーランドースロバキア間の建設プロジェクトには460万ユーロが補助される。

一価格の上昇を抑える最新技術の恩恵を受けていることについて述べた。カルピンスキ国有財産大臣も同発電所が世界有数の最新型の石炭火力発電所であることに触れつつ、EUの気候変動に関する合意やポーランドのエネルギー政策へ適合するものであることを指摘した。

### コパチ首相が建設中のオポレの石炭火力発電サイトを訪問【3日】

3日、コパチ首相とカルピンスキ国有財産大臣は、ポーランド南西部オポレで建設中の石炭火力発電所を訪問した。コパチ首相は、同発電所は従来のものに比べCO2排出を25%削減できることや、ポーランド国民は環境負荷の少なく、エネルギ

### スロバキアとポーランドを連結する新たなガス・パイプラインの建設計画【3日】

スロバキアでの報道によれば、スロバキアの天然ガス網のオペレーターであるEustream社は、米国のシェールガスを送るため、ポーランドに接続する新たなパイプライン建設を計画している。ポーランド側はGaz System社がパートナーとされており、2018年に建設を開始し、2020年には接続を完了し供給を開始する計画とされている。

## 大使館からのお知らせ

### ポーランド独立記念日の行進に関するお知らせ

11月11日(火)は、当国の独立記念日にあたり、毎年、文化科学宮殿や三十字架広場、旧市街等の周辺において、大規模なパレードや集会が催されます。昨年は、ワルシャワ市内等において行われたパレードの際、

参加者の一部が警察と衝突した他、一部の暴徒がワルシャワ市内にあるロシア大使館の警備小屋を放火するなどの事態が発生した経緯があります。

については、同日はパレード等が行われる周辺地域では十分ご注意頂くと共に、万が一、混乱する状況に遭遇した場合には、無用のトラブルを避けるためにもその場から速やかに離れるよう、ご留意願います。

なお、当日パレード(ワルシャワ市内)が実施されるルートについては、下記のリンク先もご参照下さい。

<https://marszniepodleglosci.pl/>

### **教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)**

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

### **大使館広報文化センターの開館時間について**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

### **東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm)

## 文化行事・大使館関連行事

### **【開催中】私の目で見たポーランドの都市【10月～12月】**

ヴロツワフ市にて、ナイーブ・民族アートギャラリー主催による絵画展『私の目で見たポーランドの都市』が開催中です。阿山真也氏による作品が展示されています。

開催場所: ヴロツワフ市, ul. Kielbasnicza 31

### **【開催中】荒木氏とヤシュチュック氏による写真展示会【11月7日(金)～12月14日(火)】**

ワルシャワにて、ライカギャラリー主催による『荒木経惟 & パヴェウ・ヤシュチュック写真展示会』が開催されます。

開催場所: ワルシャワ, ライカギャラリー, ul. Mysia 3

詳細: <http://leica-camera.pl/aktualnosci/wydarzenia/araki-i-jaszczuk/>

### **【予定】日本文化デー ウッジ2014【11月18日(火)～20日(木)】**

ウッジにて、梅田良忠教授記念 ポーランド日本語教育文化センター主催による『日本文化デー ウッジ2014』が開催されます。コンサート、日本についての講義、映画上映、折り紙、書道、水墨画、伝統的な遊び等が予定されています。

開催場所: ウッジ, Pl. Wolności 14

詳細: <http://bunka.org.pl/index.php?lang=en>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)